

牛木 ただし 県政報告 Vol.4



発行責任者／自由民主党・牛木義 甘楽郡甘楽町上野157-1

臨時県議会において新型コロナ対策関連予算を可決



マスク着用・距離の確保等の感染症対策を行いながら開催された厚生文化常任委員会

ごあいさつ

新型コロナウイルス感染症により様々なご苦勞を頂きながら県の自粛要請に協力を賜りました皆様、また最前線で今も戦ってくださっている医療関係者の皆様には心より敬意と感謝を申し上げます。

群馬県は6月13日(土)には「社会経済活動再開に向けたガイドライン」に基づき警戒度を「2」から「1」に引き下げ、19日には5都県への往来に対する自粛要請も解除しました。群馬県内においては日常を取り戻しつつありますが、東京においてはまだまだ多くの感染が確認されており、油断ができない状況が続いております。引き続き、皆様ひとりひとりに手洗い・マスク着用等の感染防止対策を行って頂くことが重要であります。

さて、5月22日より開会した県議会第2回定例会が6月25日に閉会となり、394億3千2百万円の補正予算が可決されました。国の二次補正予算を受け、新型コロナウイルス感染症対策に対応する予算を組むため6月15日から10日間の会期延長を行った他、県内経済回復に向け愛郷ぐんまプロジェクト「泊まって!応援キャンペーン」を迅速に実施する為の追加議案を早急に議決するなど、現状に合わせたスピーディーな対応がされた議会であったと思います。

県議会も全力で県民の安心・安全な生活の為に頑張っております!また、皆様のご意見があるからこそ行政の施策ができます。ぜひ、これからもご意見をお聞かせください。

持続化給付金や県の制度融資などは活用できていますか?

新型コロナウイルス感染症拡大により、特に大きな影響を受けている事業者に対して事業の継続を支える為の給付金が国から提示されておりますが、申請お済でしょうか?

また、新型コロナウイルス感染症により20%以上の減収または減給となった事業者及び被用者の皆様には、各町村より独自の給付金・支援制度が用意されましたのでご確認ください。



※各町村により適用条件等が異なりますので、ご不明な点はお問合せ下さい。

愛郷ぐんまプロジェクト「泊まって!応援キャンペーン」が7/31泊分まですべて適用になりました!

6月5日より実施された愛郷ぐんまプロジェクトは群馬県内に在住の方が県内の宿泊施設を利用する際に一泊6,600円(税込)以上であれば5,000円を割引くというもので、大変好評を得ております。しかし、利用する県民からは「7月後半に予約を入れたら、30万人を超えて対象にならないのではないかと?」という不安の声が多く7月後半の予約控えが発生している状況がありました。

そうした中、キャンペーンの延長や対象人数の拡充などを各議員が要望して参りましたが、6月末には「30万人を超えてしまっても7月31日宿泊分まですべて適用」とキャンペーン対象の拡充を決断頂きました。ぜひこの機会に身近な宿泊施設をご利用ください!今まで知らなかった地元の魅力発見につなげて頂ければ幸いです。

キャンペーンの適用はとっても簡単!当日受付にて用紙に名前と住所(大字まで)を記入し、運転免許証など群馬県民の証を提示するだけ!



愛郷ぐんまプロジェクト Q & A

- Q. 予約方法はどちらがいいのでしょうか?**
- A. 電話、ウェブサイト、旅行会社予約等、予約方法に制限はありません。**
※当日支払いの場合には5,000円を割引いた額が請求され、ネット予約等で事前にお支払いがされた場合には当日5,000円のキャッシュバックが受けられます。
- Q. 施設内で飲食をしたり、お土産を購入して6,600円(税込)以上となる場合には対象となりますか?**
- A. 同一施設内での飲食・買い物等であれば対象となります。**
※例えば一泊5,500円(税込)で2泊し、2,200円(税込)のお土産を購入した場合には、一泊あたり6,600円(税込)となるため、10,000円のキャッシュバックの対象となります。
- Q. こどもと一緒に宿泊したいのですが、子供1名の宿泊料金は6,600円(税込)未満です。この場合対象とならないのでしょうか?**
- A. 宿泊料金が減額となる児童等を含むファミリーやグループでの宿泊料金は、全員の宿泊金額を利用人数で割った1人あたりの料金が6,600円(税込)以上の場合に対象となります。ただし、宿泊料金が発生しない乳児等は対象となりません。**
※例えば大人一泊8,800円(税込)、子供一泊4,400円(税込)の場合、合計額が13,200円(税込)となり一人当たりの料金が6,600円(税込)となるため対象となります。

県内のキャンペーン対象施設はこちら⇒



甘楽郡内の対象施設

下仁田町	下仁田温泉 清流荘	0274-82-3077	吉崎769
	常盤館	0274-82-2216	下仁田359-2
	下仁田館	0274-82-2031	下仁田364
	RITA'S RANCH 南軽井沢	0273-81-8017	西野牧12154-277
甘楽町	甘楽ふるさと館	0274-74-2660	小幡2014-1
南牧村	民宿かじか倶楽部	090-1558-2899	星尾1235-1

ご存知ですか？～PCR検査のリスクについて～

昨今、テレビ番組などで「PCR 検査数を増やさなければならぬ」とか「国民全員に PCR 検査を受けられるように」といった論調で話をされることがありますが、**それには大きなリスクが伴います**。6月18日の日経新聞には厚生労働省医務技監の鈴木康裕氏の記事が掲載され、その中で「PCR 検査は偽陽性が一定の比率で出る。」とのコメントが掲載されておりました。

偽陽性とは、感染していないにもかかわらず、PCR 検査で陽性と出てしまうことを言いますが、一般的に PCR 検査でウイルスに感染していない人を正しく陰性と判断できる確

率は 99～99.8%と言われ、これを特異度と言います。つまり、**0.2%～1% は偽陽性と診断される可能性があるということになります**。逆に、ウイルスに感染している人を陽性と判断できる確率（感度）は 60～70%と言われ、30～40%の感染者は陰性と判断されてしまうということになります。

ここで、PCR 検査の感度を 70%、特異度を 99%及び 99.8% に設定して 7/1 現在の県内の PCR 検査数 5,112 件において、どのくらい偽陽性の可能性があるのか試算してみました。

特異度 99.00%		感染者	非感染者	合計
PCR陽性	103	50	153	
PCR陰性	44	4915	4959	
	148	4964	5112	

※県内のPCR検査実施数は5112（7/1現在）

特異度 99.80%		感染者	非感染者	合計
PCR陽性	143	10	153	
PCR陰性	61	4898	4959	
	204	4908	5112	

左記グラフのように、PCR 陽性が 153 件になるように特異度別で試算をすると、**現状県内では 10~50 人が偽陽性の可能性があるという結果になりました**。

特異度 99.00%		感染者	非感染者	合計
PCR陽性	2072	19350	21422	
PCR陰性	888	1915690	1916578	
	2960	1935040	1938000	

※県民人口を193.8万人として計算

特異度 99.80%		感染者	非感染者	合計
PCR陽性	2072	3870	5942	
PCR陰性	888	1931170	1932058	
	2960	1935040	1938000	

同様に、もし県内に（現在の陽性者の約 20 倍の）3000 人弱の感染者がいると仮定して全員に検査を行った場合、左記のように約 4,000 人～最大で 20,000 人近くの偽陽性が出てしまうという結果になりました。

このように、実際には感染していないのに陽性と判定されてしまう可能性が十分にあります。そして、大変なのは**もし PCR 検査で陽性と出てしまった場合には、それが偽陽性の疑いが強い場合であっても感染症法に基づき速やかに公表され、その発表を覆す手段がない**ということです。

実際に、甘楽町や安中市の例を見ても、「入院後すぐに PCR 検査で陰性が出て 3 日で退院し、その後の抗体検査でも陰性という結果になった」という非常に偽陽性の疑いの強いケースも出ております。

PCR 検査は、**医師が感染の疑いがあると判断した場合に、その判断をサポートする為に受けるテスト**であり、決して感染していないことを証明する為の検査ではありません。「自分が感染していたらどうしよう?」「もし他の人に移ってしまったらどうしよう?」そういった不安な気持ちもあるかと思いますが、もし誤って陽性と判定されてしまったら?大変な風評被害にあってしまうのが現状です。

県としても風評被害に対する対策を行っているところではありますが、やはり地域のウワサ話までは規制できないのが現状です。こうして、偽陽性により風評被害にあう方を増やさない為、6/24の厚生文化常任委員会にて風評被害への対策や、偽陽性が疑われる場合の再検査等を要望して参りました。

しかし、**風評被害を抑える為には県民ひとりひとりが、新型コロナウイルスや PCR 検査に対し、正しい認識を持つていくことが大変重要であります**。誰もが感染する可能性があり、PCR 陽性者は皆被害者です。

心無い一言が、他者の心を大きく傷つけることもあります。自分は大丈夫と思わず、もし自分や家族・親族が感染してしまったら?と**考え、噂に惑わされないようにしていただけたら**と思います。

今年も台風・大雨等の災害に向けて準備を!

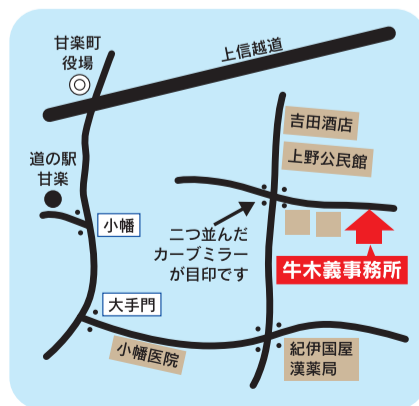
昨年の台風 19 号により、甘楽郡内では多くの被害が出てしまいましたが、幸いにも死傷者 0 でありました。しかし、それが十分な危機管理・避難体制による結果であったのか?と**言えばまだまだ不十分**なところもあったと思います。

県民の命を守る為に、県と市町村が協力しあい様々な対策を講じておりますが、**緊急の災害においては「自助」⇒「共助」⇒「公助」という順番があります**。まず「自分の身は自分で守る」、そして可能であれば「近所の人と助け合う」、そしてそれでもカバーしきれないところは「行政がサポートする」といった流れです。

災害復旧や防災対策の工事も地元建設業の皆様のおかげで順調に進んできておりますが、いざとなったときに避難する体制はしっかりと整えておかなければなりません。

区長・班長さんのリーダーシップや、親密な近所付き合いがいざというときに力を発揮します!**ぜひみんなで災害時の迅速な連絡を可能にする情報伝達の手段を考えましょう!**

地域の声を県政にとどけます!



ただし
牛木義事務所

(甘楽郡甘楽町上野157-1)
TEL.080-6644-0992
FAX.0274-75-4142